VOLVO

★印:新車基準値を表す。

★印:新甲基準値を表す。 適用範囲		モデル名			ECR88D
適用範囲		適用号機			218387
区分	検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドリング ローアイドリング		rpm rpm	2120 ± 40 rpm 970±30
		(冷却水温)		(℃)	80℃以上
		(作動油温)		(℃)	50±5°C
		(TF動油温) 弁すき間		(C)	30±3 C
		吸気弁 スキ間		mm	0.13-0.17
		排気弁 スキ間		mm	0.13-0.17
		(測定条件 低温時)		(℃)	
		圧縮圧力又は気筒間 圧縮圧力差		kg/cm2	気筒間圧縮圧力差は15%以 下
				MPa	許容限界値 2.20Mpa
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力		kg/cm2	
		ואואנוובייט		MPa	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り		mm	たわみ量 10-12
		ベルト中央部を親指で 押す		kgfm	10
		,,,		Nm	98
走行装置	走行性能	最高速度 [測定方法·条件]		秒	5.2 km/h
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り (たわみ量) [測定方法・条 件(図面番号表	mm	-
		鉄シュー	張り (たわみ量) [測定方法・条 件(図面番号表 示)]	mm	一般土壌 210~220 岩石の多い地面 200~210 砂利・砂・雪等の土壌
			7ファミアの中 { 別止刀広・宋 <i>I</i> #1	mm	
			履板取付けボル	kgf∙m	28±3
			ト締付けトルク	N∙m	274.6
				(整備点検項目)	

VOLVO

★印:新車基準値を表す。

大口・利半至学他でひり。		モデル名	ECR88D	
適用範囲		適用号機	218387	
走行装置	タイヤ空気圧	フロントホィール	MPa	-
	7 1 1 = 2 - 4 = 1		kgf/cm ²	_
		リヤホィール	MPa	-
			kgf/cm ²	_
	ホィールナット及びボルトの締付	フロントホィール	N·m	-
	けトルク	22771172	kgf∙m	
01703		リヤホィール	N·m	_
		31781 72	kgf∙m	_
作業装置		 バケット先端位置	mm	
17来公臣	1	(測定時間)	(分)	
		(作動油温)	(°C)	
		作業装置姿勢	(C)	
		(図面番号表示)		
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ/2ピースブーム	mm	4
	グリンプロ系列中和	アームシリンダ	mm	20
		バケットシリンダ		
		ブレードシリンダ	mm	20
			mm (4)	5
		(測定時間)	(分)	5
		(作動油温)	(℃)	
		(図面番号表示)		
	11 MILLEN	バケット荷重	kg	
	作業機速度	ブーム伸ばし	秒	2.3 ± 0.3
		許容限度	秒	2.9
	測定条件	縮め	秒	2.2 ± 0.3
	作動油温 50±5℃	許容限度	秒	2.8
	無荷重	作業装置姿勢(図番号1)		
	標準モード・エンジンフル回転	アーム伸ばし	秒	2.5 ± 0.3
	作業機速度計測姿勢参照	許容限度	秒	3.1
		縮め	秒	2.3 ± 0.3
		許容限度	秒	2.9
		作業装置姿勢(図番号2)		
		バケット伸ばし	秒	3.3 ± 0.3
		許容限度	秒	3.9
		縮め	秒	2.1 ± 0.3
		許容限度	秒	2.7
		作業装置姿勢(図番号3)		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	kgf/cm2	
1 1			MPa	29.4(P1, P2の場合)
		性能測定条件	ブーストモード・高回転	27.5(P3の場合)
動力伝達装置	旋回ベアリンク取付けボルトの 締みは	アウタレース取付けボルトの締付けトルク	kgf∙m	26.7 ±2.7
	締付け		N⋅m	262 ±26
				202 =20
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	kgf∙m	26.7 ±2.7
		1270 MAKINAMONI SAMININAMONI	N·m	262 ±26
			IN THE	202 ±20
	旋回減速機取付けボルトの締	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	kgf∙m	26.7 ±2.7
	付け	- >-W12451481 ASHR1245146	_	
		是 (CD) - P · 主 · W · To · (-1 · 1 · 1 · 2 · 2 · 1 · 1 · 1 · 1 · 2 · 2	N·m	262 ±26
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	kgf∙m	14.8 ±1.4
			N⋅m	145 ±14

VOLVO

VOLVO 項目	測定方法				
トラックシューたわみ測定	石や岩の多い地面で作業する場合、お互いに噛み合っている足回りのコンボーネント同士が、強い張力によって密着しやすくなるため、トラック張力をきつく調整する必要があります。トラックが緩いと、足回りのコンボーネントが不適切に噛み合ってしまいやすくなり、以下のような故障を引き起こす恐れがあります。 [故障の事例] トラックリンクローラーの摩耗、シューボルトの緩み、トラックリンクビンのクリーピング/シフティング、トラックリンクの亀裂など 1. 上部構造体を横に旋回し、ブーム及びアームを使用してトラックを持ち上げます。この動作では、レバー操作をゆっくりと行ってください。(図 1) 2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。後方に移動しながらトラックを停止します。 3. トラックフレームの中央でトラックの緩み(L)を測定し、トラックフレーム下部とトラックシュー上面の隙間を測定します。(図 2)				
	4. 土壌の特性に応じて、トラック張力を調整します。 90~120° V1156557				
1 =	図1 図2 1. 上部構造体を横に旋回させ、ブームダウン操作によってトラックを持ち上げます。				
トラックシューボルト締付トルク	2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。シューボルトおよびシューに欠落、緩み、損傷がないか確認します。指定トルクでボルトを締め付けます。 1				
作業機速度計測姿勢 【ブーム 図1】	測定準備 アームシリンダー最縮長 パケットシリンダー最伸長				
	測定操作 ブーム上げ(B→A)、ブーム下げ(A→B)の所要時間を測定します。				

VOLVO

測定方法				
測定準備				
バケットシリンダー最伸長				
アーム90°時、バケットブラケット高さが50cm(下図参照)				
A SOCTION OF STREET STR				
測定操作				
アーム(B \rightarrow A)、アーム下げ(A \rightarrow B)の所要時間を測定します。 測定準備				
アーム90°時、バケット爪先高さが50cm(下図参照)				
90° A 50cm				
////////////////////////////////////				